



さいたま市シルバー人材センターのシンボルマーク

「さいたま市」「シルバー人材」「センター」の
それぞれの頭文字「S、S、C」をモチーフに
「S」と「S」をむすぶことで「団結」を、
先を尖らせ、斜めの動きを加えることで
「発展」の意味を込めています。
また、緑色は若々しさを表し、
未来に向けて飛翔するイメージを示しています。

第3次中期計画

発行日 令和5年3月
発行 公益社団法人 さいたま市シルバー人材センター
〒330-0801
さいたま市大宮区土手町1丁目213番地1
大宮ふれあい福祉センター内
TEL 048-669-0303
FAX 048-669-0305
(ホームページ <https://saitama-sjc.or.jp>)



さいたま市シルバー人材センター

第3次中期計画(概要版)

令和5～9年度(2023～2027)



市の花木(サクラ)

公益社団法人さいたま市シルバー人材センター

令和5年3月

◆ 計画策定の趣旨

公益社団法人さいたま市シルバー人材センターは、平成 30 年度から令和 4 年度を計画期間とする第 2 次中期計画を策定し、会員の生きがいの充実と高齢者福祉の増進を図ってきました。

第 2 次中期計画の終了に伴い、この 5 年間の事業の成果と課題を振り返り、その中で明らかになった問題やセンターを取り巻く環境について、改めて調査・分析し、今後の事業運営方針を明らかにするため第 3 次中期計画を策定することとしました。

第 3 次中期計画では、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない状況に加え、少子高齢社会の急速な進行、社会ニーズの多様化、インボイス制度の導入など、先行きが不透明な中でも、より良いシルバー人材センターになることを目指したいと考えています。

◆ 計画の期間

令和 5 年度から令和 9 年度（2023 年度～ 2027 年度）までの 5 年間

◆ 計画の基本方針

- 「はたらく場」「まなびの場」「つどいの場」を充実させ、仲間を増やし、一人ひとりの“生きがい”や“健康維持”につなげます。
- 安全で安心して働くことができる環境をつくります。
- 会員、役員、職員が一体となり、地域に信頼されるセンターを目指します。

◆ 目標値

この計画は、会員数や契約金額等をコロナ感染拡大前の令和元年度の水準に回復させることを目標とし、今後の発展につなげていきたいと考えています。

年 度		令和 5 年度 (2023)	令和 6 年度 (2024)	令和 7 年度 (2025)	令和 8 年度 (2026)	令和 9 年度 (2027)
会員数（人）		4,850	4,910	4,980	5,040	5,100
就業率（％）		80.2	80.3	80.4	80.5	80.6
契約金額 (千円)	受託事業	1,544,000	1,568,000	1,593,000	1,617,000	1,642,000
	派遣事業	133,000	145,000	156,000	168,000	180,000
	合 計	1,677,000	1,713,000	1,749,000	1,785,000	1,822,000

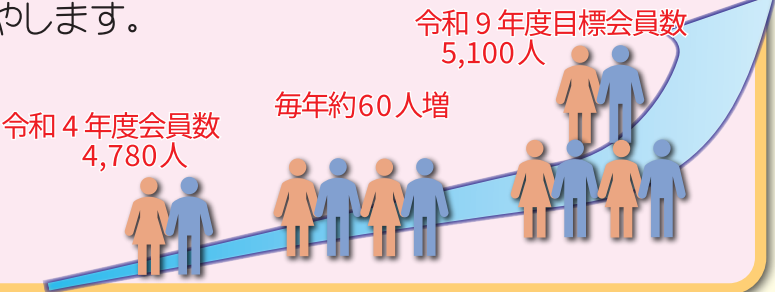
※「就業率」は、受託事業と派遣事業を合わせた値です。

◆ 目標達成に向けた取り組み

1 会員の拡大

さまざまなセンター活動を通じて健康を維持し、いつまでもいきいきと活躍できる場を充実させ、仲間を増やします。

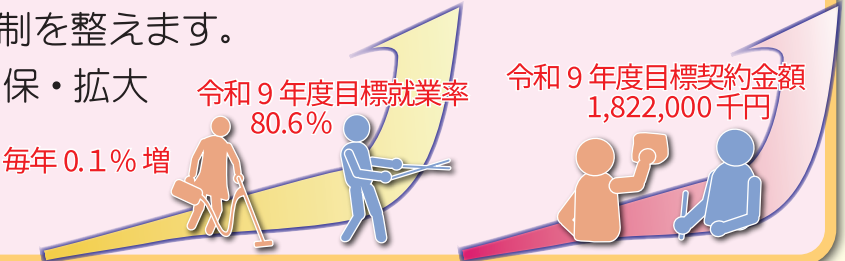
- (1) 効果的なPRの実施
- (2) 新入会員の獲得
- (3) つどいの場の充実
- (4) ボランティア活動の推進



2 就業の場の確保

一人でも多くの会員の希望に沿った就業提供に努めるほか、発注者の多様なニーズに対応できる体制を整えます。

- (1) 請負・派遣事業の確保・拡大
- (2) 独自事業の拡大
- (3) 就業率の向上



3 安全・適正就業対策の推進

就業中の事故「ゼロ」を目指すとともに、適正で公平な就業を推進します。

- (1) 安全意識の向上
- (2) 安全に働ける場の推進
- (3) 健康な身体づくりの推進
- (4) 適切かつ適正な就業の推進



安全・安心

4 運営体制の強化・充実

さまざまな環境の変化に対応し、社会の期待にも応えられるよう、組織や財政基盤の安定に努めます。また、「自主・自立、共働・共助」の基本理念に基づく会員組織となるよう組織や体制を充実させます。

- (1) 運営組織の充実
- (2) 安定した財政基盤の確保
- (3) 地域班・職群班組織の充実
- (4) デジタル化の推進

